

人と人、組織をつなぎ、あなたの暮らしを支えます

愛さぽーと

I support

2025
07

寒河江市
社会福祉協議会
広報 vol.125

特集

生きるとは—自分で決めること

私たちが運営する訪問介護事業所

生きるとは

自分で決めること

私たちが運営する訪問介護事業所

地域に根差した総合的なサポート体制

私たちが運営する訪問介護事業所の強みとして、安心して利用できる総合的なサポート体制により、利用者の実情に合わせた支援の提供が可能であることだ。訪問入浴介護、居宅介護支援、障がいをもつ方の居宅介護まで幅広いサービスを提供することで、生活の中の「困った」に多角的に対応することが出来る。さらに、地域包括支援センターとの密な連携により、利用者さん一人ひとりに、その時々最適な支援を一緒に考えられることである。

同じフロアのケアマネジャーと、密な連携が欠かせない

「あなたが来てくれてよかった」

認知症が進み、一人でいると不安でうろろろしてしまう利用者さんが、ヘルパーの顔を見るなり、ほっとしたようにそう漏らした。特別なことをしたわけではない。ただ、そばにいただけで安心を与える。寒河江市社会福祉協議会訪問介護事業所。私たちは、地域に暮らす高齢者や障がいを持つ方々の生活を支える、まさに「もう一つの家族」として、日々その現場に立つ。朝の慌ただしい時間帯の支援から、不意の困りごとまで、きめ細やかなサポートで「住み慣れた家で過ごしたい」という一人ひとりの願いに、私たちはどこまでも寄り添い続ける。

高まる在宅介護ニーズの最前線

超高齢社会が拡大する今、住み慣れた地域や自宅での生活を望む声は日増しに高まり、訪問介護の需要は右肩上がりだ。現在、約150名もの利用者さんを支えるこの事業所では、特に朝の時間帯に多くのニーズが集中する。排泄介助、服薬支援、

サービス提供責任者（サ責）

訪問介護サービスの中心を担う存在。利用者のニーズを丁寧に把握し、個別の訪問介護計画を作成。ヘルパーへの具体的な指示や指導、サービス全体の調整を行うことで、利用者が住み慣れた自宅で安心して質の高いケアを受けられるようサポートしている。

どんなときもポジティブに



朝食の準備、そしてデイサービスへの送り出し……。目まぐるしい時間の中で、ヘルパーたちは利用者さんの「当たり前の日常」を守るため、動き続けている。

サービス提供責任者（以下、サ責）の渡邊さんは語る。「朝の訪問介護は、毎日のように必要として

いる方が多いんです」。身体介護に留まらず、掃除、買い物、調理といった生活援助のニーズも高まっている

寒河江市社会福祉協議会
訪問介護事業所の「強み」

と強調する。調理が大変になった一人暮らしの高齢者には、本人ができることは行い、難しい部分はサポートしながら一緒に調理を行う。ヘルパーの仕事は、単なる家事代行ではない。利用者さんの生活そのものを共につくっていく営みそのものである。

私たちの大きな強みは、地域でも類を見ない24名というヘルパーの層の厚さである。経験豊富なベテランから子育て中の若い世代まで、多様なライフステージのヘルパーが在籍し、利

用者さん一人ひとりの状態やニーズに合わせた柔軟な対応が可能にしている。例えば、ヘルパー自身の長期に渡る在宅介護や、子育てと仕事の両立の経験などから、利用者さんご本人のことはもちろん、家族側の気持ちも痛いほど理解できる。利用者さんとご家族、どちらの立場にも深く寄り添い、求められるサポートを提供している。

「平均介護度は要介護2くらいだが、介護度が重い方もいらっしゃる。利用者さんの状況は様々なので、その都度、柔軟に対応できる体制を整えている」とサ責。

近年需要が高まっている男性ヘルパーの在籍も支援の幅を広

げている。男性利用者さんの身体介護や、女性ヘルパーでは難しい支援を担っており、多様性がすすむ今、ますます需要が高まると考え

さらに、利用者さんへのきめ細やかな支援を支えるのは、働く環境の進化も大きい。今年3月に導入された最新の訪問介護記録システム「ケアパレット」だ。スマートフォンアプリと連動したこの画期的なシステムにより、ヘルパーは訪問先でバイタルサイン、行った作業、利用者さんの様子などをリアルタイムで入力・共有できるようになった。効率化によって生まれた時間は、サ責が利用者さんやケアマネジャーとのコミュニケーションに充てられ、より質の高い支援につながっている。ヘルパーも前回の訪問時の情報をすぐに確認できるため、スムーズな連携と継続的なケアが可能になった。

また、急な対応要請や、ヘルパーが困難な状況に直面した際

データ管理も効率的に



複数のサ責がいることで、支え合いながら質の向上に努める

私たちは、本人が清潔を保つ課題も、社会との隔絶も、すべてを受け入れ、大好きな「家で過ごす」という希望を支え続けた。7年の歳月が流れた。季節は

押しやり引いたりを繰り返しながら、なんとか、お湯を張った手洗桶に手を入れる部分浴までたどり着く。触れるとほんのり温まった手に安心したのか、数年間、入浴できていなかった本人から、「気持ちいいもんだなあ」と言葉がでた。これを機に、徐々に全身の清拭（身体を拭くこと）を受け入れることにつながっていく。

私たちは、本人が清潔を保つ課題も、社会との隔絶も、すべてを受け入れ、大好きな「家で過ごす」という希望を支え続けた。7年の歳月が流れた。季節は

笑顔がもたらす安心感



訪問介護は、利用者さんの自宅において、1対1で向き合う仕事だ。そのため、施設介護とは異なる難しさや責任が伴う。「利用者さんは一人ひとり性格も違うので、同じやり方ではうまくいかない」ともありません。その都度、利用者さんの気持ちやご家庭の状況を考えながら支援にあたっています」と、サ責の渡邊主任。

ヘルパーの「やりがい」と「誇り」人生に深く寄り添うということ

にも、4名のサ責が在籍しているため、スピード感をもってアドバイスを出し合い支援にあたることができる。経験や得意分野も異なるメンバーが、良いチームワークを発揮する。一人で抱え込まず、チームとして利用者を支える体制は、ヘルパーにとって何よりも大きな安心材料となっている。

しかし、その分、利用者さんやその家族からの「ありがとう」「助かったよ」という感謝の言葉は、何物にも代えがたい大きなやりがいにつながる。

ある日、利用者さんが突然倒れた際、救急隊到着までの間、心臓マッサージを行った緊迫した経験をサ責が語った。訪問するとうつ伏せ状態の利用者さんを発見し、すぐに救急隊に連絡。まだ身体が温かかったため、救急隊からの指示で仰向けにし、到着まで心臓マッサージを続け続けたという。「亡くなられた後も、ご家族から『寄り添って良かった』と、本当にありがとう」と言葉を送る。ヘルパーとしてできることの幅の広さを感じました」と、その時の思いを振り返る。

さらに、心を閉ざし誰とも会いたがらなかった利用者さんが、ヘルパーの献身的な訪問によって回復し、自立した生活を送れるようになったエピソードもある。精神的に落ち込み、自分で選択する気力さえ失っていた利用者さんが、毎日訪問し続けたヘルパーとの関わりを通じて、最終的には自分で調理や身支度もできるようになったのだ。「そ

地域介護の未来への課題

この期間は、私たちに、支援の真のあり方、そして何よりも人間の尊厳について、深く問いかけるものとなった。

「生きることは、自分で決めること。」

巡り、お互いに様々な困難を乗り越え、共に笑い、共に涙を流した。そして、ついにその時が訪れる。住み慣れた我が家で、息子さんが看取る中、安らかに最期の息を引き取った。

これは単なる介護の話ではない。人が、その人生の幕を閉じるまで、いかに自分らしく生きることを許されるか、という尊厳を巡る話である。時に、私たちは「正しい」とされる道を押し付けがちになる。しかし、この7年間の物語が教えてくれる。

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるため不可欠な訪問介護事業所が、全国的に減少しており、寒河江市も例外ではない。その背景には、ヘルパーの高齢化と人材不足、そして低い介護報酬と物価高騰による経営難と



急な連絡にもすぐに対応

の利用者さんが「あなたから、色々なことを教えてもらって自信がついたのよ」と言ってくれた時は、本当に嬉しくて。今はサービスを卒業して、ご自身で生活されています。このサービスの理想的な終わり方だと感じます」と、その喜びを分かち合った。

7年の歳月、家で紡がれた命の輝き

「デイサービスや施設には行きたくない。外にも出たくない。ずっと家で過ごしたい」

その揺るぎない願いが、ある高齢者の心に宿っていた。できなくなってきたことが増え、自分で入浴することさえままならない状態だったという。しかし、その気持ちに私たちは真正面から向き合った。

このストーリーは、寒河江市社会福祉協議会訪問介護事業所が、ただ単に介護を提供する場ではないことを示す。私たちは、人生の最終章まで個人の尊厳を

「この方にとって、本当に必要な支援とは何か？」

誰もがサービスによる解決を選ぶ中で、私たちはケアマネジャーとともに、ご本人の「死ぬまで家で過ごしたい」という願いを、何よりも優先することにした。それは、従来の「こうあるべき」という固定観念を打ち破る、困難な道のりの始まりでもあった。

入浴をサポートしたいと思っても「自分でできるから」と、なかなか受け入れてもらえない。



経験の異なる4人のサ責が良いチームワークを生む

求人 地域に笑顔をお届けませんか?

サ責の言葉を借りるならば、「ヘルパーは、利用者さんにとって『もう一つの家族』のような存在。それぞれの家庭環境に合わせた支援は、利用者さんと1対1で深く寄り添い、その方の生活を支えることができる、やりがいのある仕事です」。

また、時間の調整が可能のため、子育て中の方も活躍しています。現在長く勤めている先輩の中には、ヘルパーからスタートし、資格を取得してステップアップした人も多数。

多様な経験を持つ仲間たちが、あなたを温かくサポートします。私たちと一緒に、寒河江の暮らしを支え、「ありがとう」の言葉が直接届くやりがいを感じてみませんか？

- 職種** 非常勤ホームヘルパー
- 勤務時間** 希望を考慮します
- 時給** 1,180円（土日祝は賃金割増あり、賞与あり年2回）
- 資格** 普通自動車運転免許（必須）
介護福祉士、介護職員初任者研修修了者、
ホームヘルパー2級（いずれか）
- 問合せ** 寒河江市社会福祉協議会 0237-83-3220

令和7年度主な事業計画

目指す地域福祉活動の醸成

地域福祉活動を考える意見交換会	3万円
生活支援体制整備事業	490万9千円
広報誌「愛さぽーと」の発行	165万6千円

次代につながる活動の推進

福祉教育推進事業	70万円
児童遊園整備助成等事業	42万円

つながりを活かした生活支援の推進

地域見守りネットワーク事業	221万3千円
食の自立支援事業（ふれあい給食）	1572万2千円
生活福祉資金貸付事業	163万4千円
特例貸付債権管理事業	828万円
日常生活自立支援事業	209万5千円
成年後見センター（中核機関）事業	264万6千円

災害の備えから始める安全・安心の確保

災害ボランティアセンター運営支援事業	56万5千円
--------------------	--------

団体活動による地域活動の推進

みんなの居場所づくり事業	26万6千円
福祉バス等運行管理事業	501万6千円
ふれあいいきいきサロン事業	65万円
ひとり暮らし高齢者の集い支援事業	42万5千円

地域を支える人材の発掘・育成

ボランティアセンター運営事業	77万2千円
ボランティア団体活動事業費助成事業	30万円

共同募金配分事業

共同募金配分事業	310万円
----------	-------

介護事業

介護事業	1億2847万9千円
------	------------

地域包括支援センター運営事業

地域包括支援センター運営事業	5571万円
----------------	--------

総合子どもセンター管理運営事業

総合子どもセンター管理運営事業	2117万円
-----------------	--------

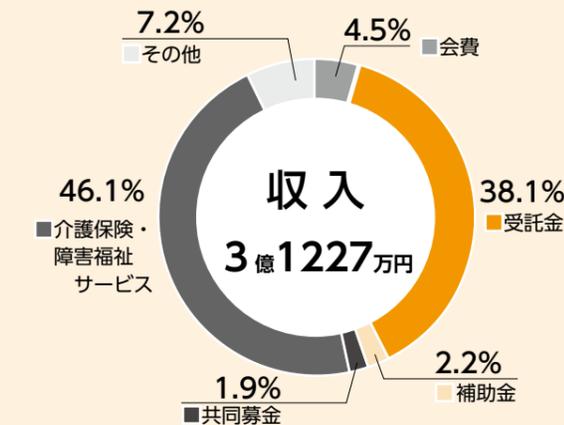
老人福祉センター管理運営事業

老人福祉センター管理運営事業	2402万円
----------------	--------

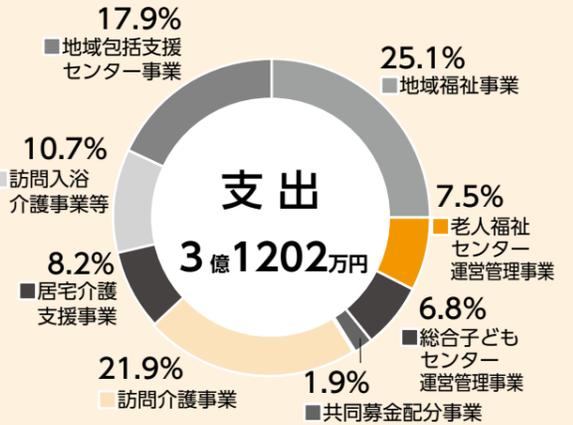
法人の管理運営

法人の管理運営	3万7千円
---------	-------

令和7年度収支予算



収入	金額(円)	割合(%)
介護保険・障害福祉サービス	1,438,760,000	46.1%
会費	14,050,000	4.5%
受託金	119,126,000	38.1%
補助金	6,942,000	2.2%
共同募金	5,802,000	1.9%
その他	2,134,000	0.7%
事業収入	6,146,000	2.0%
基金その他	14,194,000	4.5%
合計	3,122,700,000	100.0%



支出	金額(円)	割合(%)
地域福祉事業	78,509,000	25.1%
施設運営	23,540,000	7.5%
管理事業	21,170,000	6.8%
共同募金配分事業	5,802,000	1.9%
介護事業	93,769,000	30.0%
地域包括支援センター事業	55,710,000	17.9%
合計	3,120,230,000	100.0%

みなさまには、寒河江市社会福祉協議会の事業に対しまして、格別のご支援とご協力をいただいておりますことに心より御礼を申し上げます。

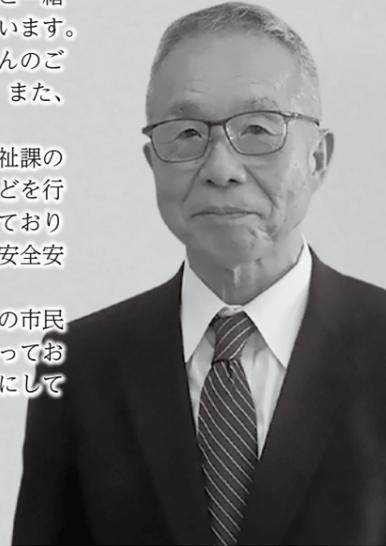
さて、山形県の人口が約百年ぶりに百万人を割り込んだことがニュースになりました。私たちが暮らす地域も集落内を歩いてみると、人口減少と少子高齢化の流れのなかにあることを実感します。

だからこそ、ますます人と人のつながりが大事になると思います。人と人がつながることが幸せを感じるもとであり、安全安心な暮らしにつながるものと思います。人口減少と少子高齢化はすぐにどうにかできるものではありませんが、そこに暮らす人たちがあたたかくつながることで、元気で人生を楽しむ高齢者が増え、少なくなった子どもたちをみんなで守り応援する地域社会になればと思います。

寒河江市社会福祉協議会は、寒河江市や関係機関・団体、ボランティアなどみなさんと一緒になって、人と人がつながる活動、人と人をつなげる活動に力を入れていきたいと考えています。特に、孤立する人が出ないように、町会長さんや民生委員児童委員さん、地域福祉推進員さんのご協力をいただき、「見守りネットワーク事業」を重点事業の一つとして実施しています。また、みんなの居場所づくり事業やボランティアセンター運営事業などを行っています。

寒河江市社会福祉協議会では、こうした地域福祉活動や生活支援などを担当する市民福祉課の事業のほか、住み慣れた地域で暮らし続けるための支えとなる訪問介護や居宅介護支援などを行う介護福祉課の事業や、高齢者の総合相談窓口となる地域包括支援センターの業務を行っています。また、市から指定管理を受けている総合子どもセンターと老人福祉センターでは、安全安心な管理に努めながら、さまざまな自主事業を行っています。

これからも職員一同力を合わせ、人と人をあたたかくつなぐ活動をとおして、より多くの市民のみなさんに、一緒に活動できてよかった、困ったときに相談できて助かった、親身になってお世話してもらってうれしかったと、頼りにされ、喜んでもらえる寒河江市社会福祉協議会にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



会長 工藤正年

第2水曜日 10:00~11:30 / みんなのよりどころ COCO& in 南部小学校

「ここ」が、みなさんの「安堵（あんど）」する場所に」と思いをこめたCOCO&がリニューアルし、南部小学校で開催することになりました。出入り自由で、子育て中の方から、おじいちゃん、おばあちゃんまで、みなさんで時間を過ごしましょう。

令和7年の予定

- ▶ 7月9日水 ▶ 8月6日水※第1水曜
- ▶ 9月10日水 ▶ 10月8日水
- ▶ 11月12日水 ▶ 12月10日水

初回の様子をちょっと覗き見...

会場は、大きな窓から緩やかな日差しが入る教室。向き合う机、窓に面した机、セルコサービスのドリンクコーナー。参加者が思い思いの時間を過ごせるよう、地域のスタッフさんによる工夫がされています。近所の方、回覧板を見て車で来た方が集まり、初対面ながら数分も経たないうちにあちこちから和やかな声が聞こえてきました。「なに地元同じだぞれ〜」「あそびある煎餅安くてうまくていっつも食べっかだ」「あらもう時間だったのかは」

ちょっと外に出てお話しする時間って楽しくてあつという間です！

場所 南部小学校 北側校舎（学童） 持ち物 内履き
参加費 200円（飲み物・お菓子付き）
主催：COCO&スタッフ（地域の皆さん） 協賛：南部地区社会福祉協議会

寒河江市社会福祉協議会 新役員紹介

本役員および評議員の改選が行われ、下記の方々が就任されましたのでお知らせいたします。

理事(15名)・監事(2名) [任期]令和7年6月27日~令和9年の定時評議員会まで

会長	工藤 正年	学識経験者
副会長	安達 正司	学識経験者
副会長	猪倉 秀行	寒河江市副市長
常務理事	小林 弘之	寒河江市福祉事務所長
理事	眞木 恒雄	寒河江地区社会福祉協議会
理事	大泉 則昭	南部地区社会福祉協議会
理事	小山三枝子	西根地区社会福祉協議会
理事	大沼 喜一	高松地区社会福祉協議会
理事	渋谷 昭儀	寒河江市民生委員児童委員協議会

理事	庄司 進	寒河江市町会長連合会
理事	菊地 廣行	寒河江市老人クラブ連合会
理事	小松たみ子	寒河江市ボランティア団体
理事	柴田みどり	(特非)まごころサービスさくらんぼ
理事	阿部 高之	寒河江市手をつなぐ育成会
理事	鈴木 隆	学識経験者
監事	小松 健一	学識経験者
監事	設楽 伸子	学識経験者

評議員(20名) [任期]令和7年6月27日~令和11年6月の定時評議員会まで

井上 康	柴橋地区社会福祉協議会
渡邊 則芳	三泉地区社会福祉協議会
旭 幸一	醍醐地区社会福祉協議会
兼子 健司	白岩地区社会福祉協議会
渋谷啓一郎	寒河江地区民生委員児童委員協議会
秋場 修一	東部地区民生委員児童委員協議会
竹田 茂	中部地区民生委員児童委員協議会
鈴木 文夫	白岩地区民生委員児童委員協議会
佐藤 雅子	寒河江市商工会女性部
遠藤 伸一	寒河江ロータリークラブ

栗林 亨	寒河江ライオンズクラブ
青山 裕	寒河江青年会議所
安孫子ヒロ子	国際ソロプチミスト寒河江
宮川 徹	寒河江市公民館連絡協議会
草刈 節子	寒河江市更生保護女性会
川越政之助	(福)松寿会特別養護老人ホーム長生園
佐藤 拓也	(福)さくらんぼ共生会さくらんぼ共生園
為貝 道明	児童養護施設寒河江学園
村上 理香	(特非)ほけっつとぴーす
公平 綾子	学識経験者

令和7年度 各地区社協会長名簿

寒河江	眞木 恒雄
南部	大泉 則昭
西根	小山三枝子
柴橋	井上 康
高松	大沼 喜一
醍醐	旭 幸一
白岩	鈴木 文夫
三泉	渡邊 則芳

ありがとうございます！ — お礼とご報告 —

令和6年度寒河江市社会福祉協議会会費

社会福祉協議会会費

一般会費	11,091件	13,309,200円
賛助会費	61件	124,600円
企業賛助会費	116件	632,000円

合計 **14,065,800円**

地域福祉の向上のため、社会福祉協議会の諸事業に活用させていただきます。

● 企業賛助会員ご芳名 (敬称略)

青山建設(株)	公平商事(株)	(株)住吉屋食品	双葉重機リース(株)
曙ブレーキ山形製造(株)	こころの宿一龍	(福)すばる	(株)古川板金工業所
朝日観光バス(株)	小林ダクト工業(株)	西部建材(株)	(株)ホテルシンフォニー
(有)アシスト	(有)齋藤電気	(株)総合葬祭天国社	Honda Cars寒河江高田店
(株)安孫子建築事務所	寒河江印刷(株)	太陽コーポレーション(株)	マルタ醸造(株)
(株)阿部林業	(株)寒河江測量設計事務所	第一相互物産(株)	丸菱食品(株)
(株)アールテック	(株)寒河江スパル	(有)タイコー電機商会	(株)丸松青果
あんどろクリニック	寒河江タクシー(株)	(株)高田地研	(株)マモル
石川歯科医院	(株)寒河江技術コンサルタント	(株)高木	(株)みずき
いたさか青果	寒河江市金融団	(株)宝工務店	みずき歯科クリニック
伊藤建設(株)	(株)寒河江自動車学校	武田久夫税理士事務所	(株)宮川製粉
大飼建設(株)	さがえ西村山農業協同組合	(有)高島屋本店	(株)村建
井上工業(株)	JA健康福祉センターめぐみ	(株)多田	森田建設(株)
椋津建設(株)	(有)サガミ自動車	中央タクシー(株)	(株)森谷家具センター
大泉興業(株)	(有)佐藤紙店	(株)長陵	やぐらや
大久保歯科医院	佐藤歯科医院	(株)チェリーランドさがえ	(株)山形環境エンジニアリング
(有)大久保薬局	佐藤繊維(株)	(宗)長念寺	(株)ヤマゼン
(株)太田塗装店	(株)サトー住販	(株)土田電気工事	山形日産自動車(株)寒河江店
大富建設(株)	(株)さとう電熱	T P R 工業(株)	山形トヨペット(株)寒河江店
大沼工業(株)	寒河江商事(株)	東北グンゼ(株)	山形ハルタ(株)
(有)鹿島重機	さふらん寒河江店	(有)中島屋菓子店	(株)山形ミートランド
(株)片桐塗装店	サラヤ(株)	日東ベスト(株)	(福)悠々会
月山酒造(株)	(株)進興製作所山形工場	芳賀水道(株)	(株)ユニバーサル山形
菊地胃腸科内科医院	新寒河江生コンクリート(株)	八松園(株)	(株)リプライ
菊地歯科医院	鈴木歯科	(株)花泉	(株)若月印刷
菊池商事(株)	鈴木歯科医院	(株)眺	渡辺建設工業(株)
(株)木村ぶつだん	(有)鈴木木工	早坂肇税理士事務所	NPO法人まごころサービスさくらんぼ
國井建設(株)	鈴木食品製造(株)	(株)平野学園	
(有)グリーン・プランテーション	(有)鈴建	富士フィルムBI山形(株)寒河江営業所	
(株)グートスミミングクラブ	(有)スポーツ館	布施建設(株)	

● 個人賛助会員ご芳名 (敬称略)

安食 透	大久保晴二	軽部 健	澤田 宏	土田 剛	芳賀 正司
安食 俊博	大波 龍一	軽部 秀昭	設楽久美子	土田 輝美	布施 健
安孫子 修	大沼 和夫	菅野 榮子	菅原 大榮	土田 芳昭	布施 智典
安孫子恵司	大沼 友伸	菊地 富雄	鈴木 修	角田 裕一	細谷 俊裕
安孫子 仁	奥平 暁俊	菊地 直人	鈴木 淳一	那須嘉一郎	森岡 喜輝
阿部 善弘	奥山 尚子	草刈重治郎	鈴木 祐子	那須 五郎	渡辺 徳夫
荒目 春夫	小野 修介	工藤 正年	高橋 源喜	那須 重男	
市村 孝夫	小野 承信	小林 和芳	高橋 勝文	那須 吉雄	
卯月 恒行	柏倉 誠	後藤 智樹	丹野 和之	野口 康雄	
椋津 泰正	亀山 尚也	佐藤 光興	土田 一誠	芳賀惣一郎	
大泉 富博	鴨田 一敏	佐藤 真悦	土田 平	芳賀 宏	

会費納入のお願い

本会では「住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまち」を目指し、多くの方々の協力により、地域福祉活動を推進しています。

皆様からの会費は、事業の充実や推進のための貴重な財源です。

会費種別	対象	会費
一般会費	全世帯	1,200円
賛助会費	個人・団体	2,000円以上
企業賛助会費	企業・事業所	5,000円以上

本会への寄付、会員会費については、税法上の優遇措置が受けられます。詳しくはホームページにてご確認ください。



じいちゃんばあちゃんを元気にする冊子『さがえのおと』大好評！

1



「さがえのおと」冊子に込めた思い
「さがえのおと」は、私たち寒河江市社会福祉協議会の地域の視点と東北芸術工科大学の若い視点を活かして作り上げた一冊です。

この冊子をきっかけに、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒にまちへ出かけたり、共通の話題で笑い合おう。みんなで「まちを「楽しむ」ことで、たくさんの方々の「笑顔」と「元気」が広がっていく、そんな未来を「さがえのおと」は応援しています。

「さがえのおと」は、元気なご家族や地域の方々、そして若い世代の皆様にもぜひ読んでいただき、一人で一歩を踏み出すのが難しい高齢者の後押しをしていただきたいと思います。

この冊子は、ちよっぴりお出かけが億劫になり、日々の楽しみが減ってしまったと感じる「じいちゃん、ばあちゃん」たちが、もう一度まちの魅力に気づき、いきいきと元気な毎日を送るためのヒントを詰めています。

「じいちゃん、ばあちゃん」は、元気なご家族や地域の方々、そして若い世代の皆様にもぜひ読んでいただき、一人で一歩を踏み出すのが難しい高齢者の後押しをしていただきたいと思います。

2 世代を超えた笑顔が集結！「まちのすごし方フェア」

令和7年3月29日、寒河江市中央公民館ホールは温かい笑顔と活気に包まれました。

イベントの目玉はトークイベント。東北芸術工科大学の榎上祐樹氏をファシリテーターに、地域で活躍する3名のゲストが登場。「まちを盛り上げる活動での高齢者のエピソード」や「高齢者との関わりで思うこと」といったテーマで、パネルトークが繰り広げられました。

会場では、「さがえのおと」に掲載された活動や企業による、パンやコーヒー、白玉ぜんざいといった飲食ブースに加え、オリジナル缶バッジ作成やアロマスプレー体験、ボードゲームなど、多様な体験ブースも大盛況。寒河江市イメージキャラクターのチェリンも登場し、終日笑顔と賑わいにあふれた一日となりました。



「さがえのおと」のお披露目を目的に開催した「じいちゃんばあちゃんと楽しみたい まちのすごし方フェア」には、高齢者の方々はもちろん、お子様連れのご夫婦や若い世代も多数ご来場、会場は世代を超えた交流の場となりました。

令和6年度事業報告

地域福祉事業

町会福祉活動支援事業

市民の地域福祉活動を推進するため、町会に対して地域福祉推進交付金として130万1千円を交付しました。

高齢者が元気に暮らせる地域づくり事業

市民、関係機関等と高齢者の自立支援の視点を共有し、東北芸工大コミュニティデザイン学科と『さがえのおと』3000部を作成し、全町会に配付しました。

地域見守りネットワーク事業

各町会の地域福祉推進員、地区社協、民生委員児童委員協議会等が連携のもと、研修会や活動費の交付等をおおして、独り暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯等の見守り活動の推進を支援しました。

災害ボランティア育成事業

災害ボランティアセンターを設置運営する体制整備のため、柴橋地区での訓練と、講師を招いての運営協力者養成講座を行いました。

介護事業

指定介護事業所の運営

介護報酬改定等の状況変化に対応しつつ、訪問介護事業や居宅介護支援事業等を実施しました。

地域包括支援センター

総合相談支援事業

地域課題の把握や解決のため、地域へ訪問するなど地域のネットワークづくりに取り組むとともに、個別の相談においては保健・医療・福祉サービスの制度や関係機関等に繋がりました。

令和6年度収支決算

収入			支出		
費目	金額(円)	割合(%)	費目	金額(円)	割合(%)
会費	14,065,800	4.9%	地域福祉事業	69,463,741	22.7%
受託金	108,536,571	38.2%	施設運営	22,682,129	7.4%
補助金	8,000,300	2.8%	管理事業	22,197,731	7.2%
共同募金	4,767,561	1.7%	共同募金配分事業	4,767,561	1.6%
介護保険・障害福祉サービス	139,164,119	48.9%	介護事業	66,591,847	21.7%
事業収入	2,275,080	0.8%	訪問介護事業	25,494,945	8.3%
その他	4,031,700	1.4%	居宅介護支援事業	44,135,483	14.4%
負担金収入	4,031,700	1.4%	訪問入浴介護事業等	51,198,694	16.7%
基金その他	3,581,606	1.3%	地域包括支援センター事業	51,198,694	16.7%
合計	284,422,737	100.0%	合計	306,423,676	100.0%

「聴こえない世界」と「聴こえる世界」。
それぞれの場所で、私たちは共に生きている。
家族の「あたりまえ」を見つめ直す感動の物語。

Topics

『ぼくが生きてる、ふたつの世界』上映会

吉沢 亮主演
社会福祉協議会から、あなたへ。
心を繋ぐ映画プロジェクト、始まります！



この度、地域社会の温かい絆を育むため、映画『ぼくが生きてる、ふたつの世界』上映会を企画しました。

耳の不自由な両親と聴こえる息子。特別な家族の日常から見えてくるのは、普遍的な親子の愛情と、お互いを支え合うことの大切さです。言葉を越えた手話や豊かな表情が織りなすコミュニケーションの美しさに、きっと心が温かくなることでしょう。

私たち社会福祉協議会は、「誰もが安心して自分らしく暮らせる社会」を目指しています。「家族とは何か」「お互いを理解し、支え合うってどういうことだろう？」—この作品を観て、普段の生活の中での人との繋がりや、地域での温かい絆について、改めて考えるきっかけにさせていただけたら嬉しいです。

上映日時 令和7年10月18日(土) 上映場所 ハートフルセンター多目的ホール
前売券 1200円 寒河江市社会福祉協議会 ☎0237-83-3220

手話サークル「かがやき」からのお知らせ

本を借りて、新しい世界をのぞいてみませんか？

手話サークル「かがやき」は、市民の皆さんに手話をもっと身近に感じてほしいという思いから、手話学習用の本の貸し出しを始めます。

◆意外と身近な手話の世界

手話は、特別な人だけのものではありません。私たち「かがやき」のメンバーも、最初は「難しそう」と感じていました。でも、いざ始めてみると、その奥深さや、コミュニケーションの楽しさに気づかれます。



メンバーの芳賀さんは、以前、イオンで偶然、耳の聞こえない方を見かけ、手話で会話した経験があります。「手話が通じることにとても驚き、喜んでくださったんです。その時、音が通じにくい世界で暮らしている方々が身近に

いること、そして手話で繋がれることの素晴らしさを実感しました。」と話します。

手話は、特別な場所だけでなく、日常のふとした瞬間に出会うことがあります。芳賀さんが学生の頃、駅のホームを挟んで、手話で会話している人たちの光景が頭から離れません。声は届かないけれど、手話で心を通わせる。そんな光景が、手話の持つ可能性を教えてくださいました。

◆手話は「気づき」を与えてくれる

「かがやき」のメンバー、佐藤さんは、ご自身の障がいがかきかけで手話を学び始めました。そして、

「手話を学ぶことで、困っている人に気づけるようになり、どうしたらいいか考えるようになりました」と語ります。手話は周りの人への「気づき」を与え、行動を促すきっかけにもなるのです。

◆今年地域とのつながりを広げます！

今年もっと積極的に地域に出て、市民の皆さんと交流する機会を増やしたいと考えています。手話の出前授業なども検討しており、今回の本の貸し出しもその第一歩です。手話を通して、より多くの人とのつながりを築き、手話の魅力を広げていきたいと思っています。

◆本を借りて、ちょっとだけ手話に触れてみませんか？

「こんな時、手話だとどう表現するんだろう？」「テレビで見る手話って、どんな意味があるんだろう？」

そんなちょっとした疑問からでも、手話の世界は広がっていきます。

手話を学ぶことは、今まで気づけなかった視点につながるがあります。もしかしたら、あなたの日常に、ささやかな彩りを加えてくれるかもしれません。



◆貸し出しについて

貸出期間 3週間
借用方法 社協窓口にお越しください

貸し出し可能図書

DVDで学ぶ手話の本2、DVDで学ぶ手話の本3、DVDで学ぶ手話の本4、わたしたちの手話学習辞典Ⅰ、わたしたちの手話学習辞典Ⅱ、これで合格2024 全国手話検定試験

◆◆◆一緒に活動してみませんか？◆◆◆

手話は、音のない世界で感情や言葉を豊かに表現できる、とても魅力的なコミュニケーションです。身近な人との会話がもっと楽しくなったり、困っている人にそっと手を差し伸べられたり。手話を通して、新しい自分や、今まで気づけなかった世界に出会えるかもしれません。

私たちは、手話を通して地域とつながり、その魅力を広める活動をしています。映画「聲の形」を見て「手話っていいな」と感じた中学生もメンバーです。あなたの「やってみたい」気持ちを私たちが全力で応援します。

問合せ 手話サークルかがやき
さがえdeできますポケット (寒河江市ボランティアセンター) ☎0237-83-3220

夏ボラ告知

令和7年8月3日(日) 10:00~12:00

小学4年生以上
おとも大歓迎!

わくわく
ボランティア
体験ツアー

市内で活躍するボランティア団体の活動を体験できるボランティアツアー！体験したい活動1つにプラスして他の体験も楽しめます。

体験内容

要約筆記、音訳体験、手話体験、点字体験、昔語り、落語、バルーンアート、お任せ…

場所 寒河江市ハートフルセンター2階

対象 小学4年生以上、一般も歓迎

申込方法 二次元バーコード
またはメール
(shakyo@beige.plala.or.jp)



詳細・申込みは二次元
バーコードにてご確認
ください
申込メ切はどちらも
7/22(火)まで
市民皆さんの参加をお
待ちしております

図書カード1,000分を
3名様にプレゼント

広報誌「愛さぽーと125号」の感想をお待ちしています。

- 名前
- 住所
- 連絡先(電話またはE-mail)
- 印象に残った記事/①ページNo ②記事タイトル ③感想
- 今後特集してほしい内容
- その他、ご意見をお聞かせください

社会福祉協議会では、事業内容・活動状況などを市民の皆さまへ知っていただくため、広報誌作成に力を入れて取り組んでいます。二次元コードから読み込んでいただき、フォームにご回答いただくか、またはハガキでも受け付けています。皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしています。

締切 2025年8月15日(金)

寒河江市社協公式Instagramをはじめました！

イベント情報や地域の活動の様子の発信をしています。フォロー、いいね！、よろしくお願ひします！



令和7年7月30日~8月12日の期間中

いろんな施設で体験できる！
大人の方の体験も大歓迎！

体験日が選べる！

夏休み
ボランティア
in 市内施設



市内の福祉施設等を利用する高齢者・子どもの支援や交流など、選べる体験は様々！期間中は何日でも体験可能！

場所 市内各施設

対象 中学生以上、一般も歓迎

申込方法 二次元バーコード
またはメール
(shakyo@beige.plala.or.jp)



施設ボランティア

みんなのボランティア

「さがえdeできますポケット」は、「こんなことをしてみたい」「こんなことを手伝わってほしい」という皆さんの声をつなぐセンターです。

「デイサービス花」での
ボランティア体験記

「福祉に興味があり、何かボランティアをしたい、とセンターに相談し、スムーズに活動先へつないでもらえました。職員の方が利用者さんに明るく優しく接するのが印象的で、緊張していたのも束の間、安心して活動できました。想像以上に明るい利用者さんに、元気をもらいながら、聴くことの大切さや喜ばれる嬉しさを実感しています。ボランティアセンターでは、馴染みのある図書館での活動の紹介もあり、想像よりも身近で気兼ねな活動が多いと感じました。」

「さがえdeできますポケット」
ご連絡はLINEまたはお電話にて



☎0237-83-3220



活動内容
利用者さんのお話、
食器洗い、配膳など

つつじいろ



阿部 和子 さん
醍醐地区



包括職員

食と人の絆が織りなす和子さんの暮らし

山形県寒河江市の飲食店で約20年にわたり勤務し、愛嬌あふれる性格でお客様や友人に愛されてきた和子さん。しかし昨年、突然の試練が彼女を襲いました。原因不明の食欲不振に陥り、体重は一時29kgまで激減。長期にわたる入院生活を余儀なくされましたが、持ち前の前向きな姿勢で病と向き合い、見事回復を遂げました。

退院後、和子さんは親族や友人たちの温かいサポートに支えられ、少しずつ日常を取り戻していきました。入浴の見守りや買い物、通院の送迎など、周囲の協力を得ながら、かつての活気を取り戻していきます。「みんながいてくれたから、またこうして笑って過ごせるの」と、和子さんは感謝の気持ちを口にします。

私たちは、退院後の自宅での生活について一緒に考えます。慣れ親しんだ飲食店への復職を目指し、3か月間の運動教室で体調は元に戻りました。元気になった後、ふと、振り返ると「友人と一緒にいる時間を大切にしたい」と、新たな人生の道を選択。今は地域の活動に積極的に参加し、「百歳体操」や「オレンジカフェ」などで、多くの人との交流を楽しんでいます。「家にこもるより、やっぱりみんなと話すのが一番の薬だね」と、はつらつとした笑顔を見せます。人生の変化をありのままに受け入れ、人との絆を何よりも大切にする和子さんの姿は、周囲の人々にとって大きな励みとなっています。



若い頃、ご主人と

そして何より、和子さんにとって食事は生活の大きな喜び。友人と囲む外食の時間は、心弾む特別なひとときです。「こんな美味しいもの、またみんなで食べられるなんて本当

に幸せだね」と、目を輝かせながら語ります。昨年のつらい経験を乗り越え、食べる喜びを再び見出し、日々の食卓を大切に暮らすを取り戻しました。

食事は単なる栄養補給ではありません。人との交流を深め、心を豊かにしてくれるもの——和子さんにとって、それは人生を彩るかけがえのない楽しみの一つなのです。

自分で作る喜び、受け継がれる家庭の味

和子さんにとって、自分で調理することも生きがいの一つです。以前お邪魔した際には、たくさんの野菜とベーコンが入ったシチューや、優しい甘めの味のきんぴらごぼうを友人にご馳走していました。どうやら煮物料理は得意中の得意。温かな家庭の味が、食卓に並ぶたびにじんわりと心に沁みわたります。

そして今回、和子さんが作っていたのは笹巻。訪問すると、すでに丁寧に笹の葉で包まれ、きゅっと結ばれたもち米がずらり。「もうすぐできるからね」と、ふつふつと沸いたお湯の鍋をのぞくように手招きします。写真に写っているのは、仕上げにきなこを混ぜているところ。湯気と共にふわりと立ち上る甘い香りが、空間いっぱいになり、和子さんの手から生み出される温かな家庭の雰囲気包まれます。



地域包括支援センターでは、皆様が自分らしく暮らすためのサポートを行っています

☎ 寒河江市地域包括支援センター ☎ 0237-85-0896

本とのトコロ

今回は「ムーミンママクラブ」から
“推し本”を紹介

テーマは
“ユーモアたっぷり
思わず笑っちゃう絵本”



『まめうしくんとこんにちは』 あきやただし 作・絵
「こんにちは」「ありがとう」「いただきます」「さようなら」同じ言葉でも、言い方や表情、声のトーンを変えてみると、とても楽しいもの。うれしかったり、もじもじしたり、おこったり、かなしかったり。言葉と感情がひとつになることで、楽しさやおもしろさをより発見できることでしょうか。その時の気持ちを想像しながら、言葉をみんなで楽しんでみませんか。

大人向けの出前活動も
行っています

おはなし会ムーミンママクラブ (読み聞かせボランティア)

本の良さ、楽しさ、故郷の大切さを伝えることを目的に、参加者の年齢に合わせて作り上げられるおはなし会は、愛のこもった手作りの教材でいっぱい。「スーホの白い馬」を題材とした市内外小学校での特別授業は、手作り絵巻と物語に出てくる楽器や民族衣装を用いて20年以上続けている。

代表 小松たみ子
問合せ さがえdeできますポケット
(寒河江市ボランティアセンター)

